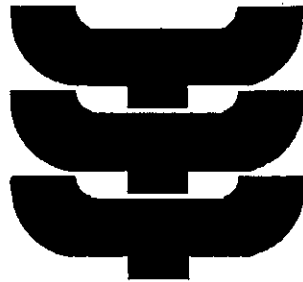


令和元年度

久留米市文化財収蔵資料審議会



- ◆ 日時 令和元年12月20日(金) 14時00分～
- ◆ 会場 えーるピア久留米 205学習室

市民文化部文化財保護課

次 第

	ページ
1 開会のことば	
2 部長挨拶	
3 委嘱状交付	
4 議題審議	
(1) 文化財収蔵資料の購入について	1
(2) 令和2年度以降の資料購入について	2
5 報告	
(1) 平成30年度・令和元年度の資料収集について	6
(2) 平成30年度・令和元年度の資料補修について	7
(3) 令和2年度以降の資料補修について	12
6 その他	
(1) 資料の活用状況について	14
7 閉会のことば	

4. 議題審議

(1) 文化財収蔵資料の購入について（諮問）

1文財 第1176号
令和元年12月20日

久留米市文化財収蔵資料審議会
会長 大津 忠彦 様

久留米市教育委員会
教育長 大津 秀 明
(市民文化部文化財保護課)



文化財収蔵資料の購入について（諮問）

このことについて、下記の事項について久留米市文化財収蔵資料取扱要綱第3条の規定により諮問します。

記

1. 令和2年度以降の資料購入について

購入予定資料（候補）

1. 三谷有信筆「風景スケッチ」
2. 牛島謹爾写真アルバム（江崎利加子旧蔵写真アルバム）

(2) 令和2年度以降の資料購入について

【資料の収集方針】

資料の収集は、従来の博物館計画に沿いながら、久留米の歴史と文化に関わる歴史・美術・民俗資料を対象に、寄贈、寄託、購入、移管、採集によって行う。ただし、これまでの収集状況を勘案し、以下の点を重点的な目標とする。

1. 久留米藩の歴史的関連地域に関わる資料
2. 近現代における久留米地域の産業に関わる資料
3. 体験型展示や教材に供するための資料
4. 収蔵資料に類似例のない資料

【候補資料】

1. 三谷有信筆「風景スケッチ」
2. 牛島謹爾写真アルバム（江崎利加子旧蔵写真アルバム）

1. 三谷有信「風景スケッチ」

所有者	筑前書店（筑紫野市阿志岐795-1）
員数	3枚1組
品質形状	水彩／紙
概要	久留米藩最後の御用絵師三谷有信（1842～1928）の風景スケッチ。有信は、藩政時代には日本画を生業とし、明治維新以降、長崎・東京などで西洋画法を学ぶ。現存する作品は大半が日本画であり、洋画は貴重な作例となる。
現状	一部破損あり。往復郵便はがき2通及び郵便はがき1通が付属する
内容	①山岳風景（山小屋・馬車） 18cm×27cm程度 ②山岳風景（旅人） 17cm×29cm程度 ③山岳水辺風景（船） 18cm×26cm程度 ※裏面墨書等、詳細別紙
その他参考となる事項	収蔵資料 ・三谷有信絵画作品 44件 ・三谷家旧蔵資料（寄託）5,837件

（写真等）



2. 牛島謹爾写真アルバム（江碕利加子旧蔵写真アルバム）

所有者	梓書房（文生書院） 東京都文京区本郷6-4-7
員数	アルバム1冊（写真59葉）
品質形状	写真
概要	三瀨郡鳥飼村（現久留米市梅満町）出身の牛島謹爾（1864～1926）は英語取得のため、25歳で渡米。農業の研究にも勤しんだ謹爾は、カリフォルニア州のデルタ地帯を開墾してじゃがいもの栽培を志し、やがて「ポテト王」と呼ばれるほどの成功を収めた人物。初代在米日本人会会長も務めた。写真アルバムは謹爾が実妹である江碕利加子氏にあてたもの。牛島謹爾は長兄覚平、次兄彌三郎、妹利加子の4人兄妹
現状	調査中
内容	大正5～11年頃に撮影されたモノクロ写真で、謹爾が在米中の近況を妹に伝えたもので、謹爾の自宅や家族、また渋沢栄一らとの夕食会などの写真も含まれている。
その他参考となる事項	梓書房からの提示は220,000円（税抜き）

写真1



中央に「我が愛する阿妹江碕氏に寄す 大正十一年五月二十二日 牛島謹爾」と直筆献辞が記入されており、牛島謹爾が国内に在住する妹、江碕氏へ近況を伝えた写真集であることが判明する。右側に牛島謹爾全身写真。この写真で謹爾は左手を隠しているが、「予自動車二於而疵を蒙り写真を撮す」と注記され、自動車事故により負傷していたことがわかる。これは今まで知られる謹爾の年譜中にはなかった出来事である。

また、左側には謹爾の子供四人の写真がある。このうち次男は幼くして亡くなっており、子供四人が揃う写真は貴重である。

写真2



貼紙に「大正五年三月二十五日、別天地牡丹園撮影」「牛島謹爾」「此日正金支店長三井物産支店長諸氏ヲ招キ観花宴ヲ張」「呈江碕利加子」と自筆で記されるとおり、謹爾私宅での宴の様子を伝える写真である。本市教委が所蔵する謹爾の兄覚平の遺族から寄贈された写真にも満開の牡丹の花や、牡丹を觀賞する人物の写真が数葉あり、同時に撮影されたと思われる。

写真3



「Geo Shima Dinner to Viscount Shibusawa of Japan... Fairmont Hotel San Francisco Oct. 30 1921」と写真中に注記あり。日本財界の重鎮、渋沢栄一は排日運動で悪化する日米関係の改善を目的とした使節団員として1909年（明治42）に渡米。迎えた在米日本人会会長の謹爾と意気投合し、都合4回に及ぶ渋沢の渡米時には深く関わっている。写真は第4回訪米時の記念写真で、前日サンフランシスコに到着した渋沢一行を歓迎する夕食会。写真奥の長椅子左側に謹爾、その右隣が渋沢と伝えられる。

なお、渋沢と謹爾の交流は深く、1926年（大正15）3月、謹爾が脳溢血のため63歳で卒すると、渋沢は高橋是清・元田作之進らと共に発起人として日本での追悼会を主催し、カリフォルニア州コルマの日本人共同墓地に現存する顕彰碑建設に際しては銘文を揮毫。また、謹爾の伝記編纂事業を企画し、自ら「牛島謹爾君略年譜」を執筆するほどであった。（謹爾の事業後継者の内紛により伝記編纂は成らず）

5. 報告

(1) 平成30年度・令和元年度の資料収集について

【平成30年度】（平成30年12月1日以降）

受入番号	受入件名	收藏区分	数量	資料年代	備考
A2018-016	渡辺時雄家資料	寄贈	14	近代	地図等の資料
A2018-017	竜胆車紋様入飾幕	採集	1	昭和戦前	歴史資料
A2018-018	近澤家資料	寄贈	220	昭和戦後	写真資料
A2018-019	青木照夫家第4次資料	寄贈	1	昭和戦前	戦争資料
A2018-020	倉富一博家第1次資料	寄贈	2	昭和戦前	戦争資料
A2018-021	辻(旧姓金原)美禰子家第2次資料	寄贈	4	昭和戦前	産業資料
A2018-022	池上廣家第2次資料	寄贈	1	昭和戦前	戦争資料
A2018-023	絵葉書「総監部」	採集	1	昭和戦前	戦争資料
A2018-024	横剣板鋌留短甲	寄贈	1	古墳時代	歴史資料
A2018-025	平川良栄関連平川家資料	寄贈	58	江戸後期から昭和戦前	古文書資料
A2018-026	堤康則家資料	寄贈	9	昭和戦前	民俗資料

※各資料群の詳細については、別紙5

【平成31年度・令和元年度】（令和元年12月1日現在）

受入番号	受入件名	收藏区分	数量	資料年代	備考
A2019-001	青木照夫家第5次資料	寄贈	1	昭和戦前	戦争資料
A2019-002	姉川美智子家資料	寄贈	1	昭和戦後	民俗資料
A2019-003	仲芳美家資料	寄贈	1	昭和戦前	歴史資料

(2) 平成30年度・令和元年度の資料補修について

【平成30年度補修済】

1. 覚「献上金預り置」他11点 紙本墨書 卷子装

平成30年度の収蔵資料補修事業は、覚「献上金預り置」他11点 付箋1点について実施した。補修はすべて熊本市の富永米山堂へ委託した。

覚「献上金預り置」は、三瀨郡宮本村の喜右衛門が、夜明組大庄屋である川原孫兵衛へ宛てた覚書である。その他、11の文書と付箋1点が巻物として保管されていた。それぞれ、独立させ保管状態を改めること、今後の活用で展示しやすい形状であることを考慮して、方針を立てた。

事業は、平成30年6月15日から同年11月26日の期間で行った。

現状の品質及び形状

形状 卷子装、本紙 楮紙（裏は楮紙にて裏打ち）、表紙 金茶地宝尽吉詳文緞子、

見返し 揉箔撤、紐 なし、題箋 なし、箱 あり

巻物 天地31.0cm、全長725.0cm、本紙 表のとおり、本紙数 12紙と1紙（別に付箋1紙あり）

巻次	丈 (cm)	×	幅 (cm)	巻次	丈 (cm)	×	幅 (cm)
見返				第7紙	15.6	×	44.5
第1紙	27.0	×	13.2	第8紙	16.9	×	63.0
第2紙	16.4	×	37.7	第9紙	20.0	×	55.8
第3紙	30.8	×	33.5	第10紙	27.0	×	35.8
第4紙	16.2	×	44.0	第11紙	16.6	×	61.7
第5紙	16.1	×	44.0	第12紙	27.2	×	147.7
第6紙	16.0	×	58.7	付箋	16.2	×	7.0

破損状況と修理方法

破損状況	修理方法
本紙に汚れがある。折れ、糊離れあり。表紙と見返しの折れ、虫損がある。	1. 巻物の解装を行い、全12紙の内、11紙はマット装とする。最後の長い本紙1紙は簡易卷子装とする。
	2. マット装用本誌は、旧裏打ち紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行う。
	3. 簡易卷子装用本紙は旧裏打ち紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行い、折り伏せを入れる。天地のみ僅かに残し断ち仕上げる。
	4. 中性紙の台紙、マット、表紙（和紙）を作り、此の間に挟みマット装とし収納保存を行う。
	5. 台紙寸法は、2種類（40cm×50cmと30cm×70cm）とする。
	6. マットの窓の大きさは本紙より少し大きく開ける。
	7. 紙箱は合計4箱の新調を行う。

補修にあたって、方針を以下のとおりとした。

- 1) 巻物の解装を行い、全13紙の内、12紙はマット装とする。最後の長い本紙1紙は簡易卷子装（表紙と軸は付けずに紙管に巻き、覆表紙で包み巻き紙箱に保収納）とする。
- 2) マット装用本誌は、旧裏打紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行う。
- 3) 簡易卷子装用本紙は旧裏打紙の除去を行い、周りに和紙にて保護紙を付けて裏打ちを行い、折り伏せを入れる。天地のみ僅かに残し断ち仕上げる。
- 4) 中性紙の台紙、マット、表紙（和紙）を作り、此の間に挟みマット装とし収納保存を行う。
- 5) 台紙寸法は、2種類（40cm×50cmと30cm×70cm）とする。
- 6) マットの窓の大きさは本紙より少し大きく開ける。
- 7) 紙箱は合計4箱の新調を行う。（40cm×50cmの箱を1箱、約30cm×70cmの箱を2箱、約30cm×9cmの箱で簡易卷子装の箱を1箱）
- 8) 資料の出し入れを容易にするためにリフト（持ち上げ用の紐付きの台紙）を添える。
- 9) 収納は2箱以上に分けて納品する。

補修方法については、は以下のとおりとした。

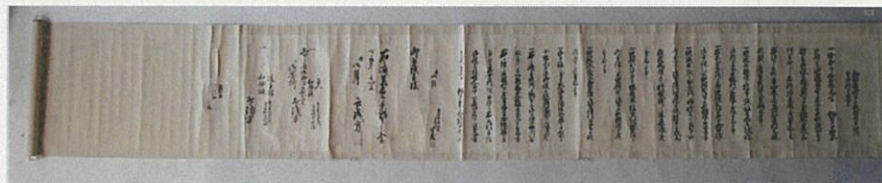
- 1) 本紙の紙質及び状態等の調査を行い、修理前の写真撮影を行うこと。
- 2) 埃・虫糞等の酸性化物を適切な方法で除去すること。
- 3) 本誌に似寄の補修紙を調達し、薄目に染めて調整を行う。
- 4) ゴアテックスにて加湿し、旧裏打紙の除去を行う。
- 5) 本誌欠損箇所については、調整した似寄りの補修紙にて補紙を行う。
- 6) 本誌裏に浄水を噴霧して湿らせ伸ばす。周りに保護紙をつけ和紙と新糊にて裏打ちを行い、プレス乾燥を行う。
- 7) 和紙と新糊にて裏打ちを行い、プレス乾燥を行う。
- 8) 糊の使用に際しては化学糊を使用しないこと。
- 9) 本誌寸法より少し大きめで中抜きを割り抜き、窓を開け角の面取りを行い、中抜きと台紙を和紙のヒンジで繋ぎ、和紙の表紙を付ける。
- 10) 本紙を所定の寸法に裁ち（保護紙を残し大きめに化粧裁ちを行う）、台紙とマットの間に挟みコーナー（厚手の和紙製）で留め固定を行う。

仕上げの簡易卷子装においては以下のとおりとした。

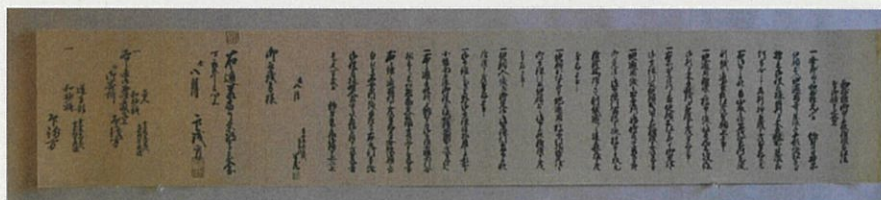
- 1) 本紙を湿して旧肌裏紙を除去して、虫損及び欠失箇所の繕いを補修紙にて行う。また、本紙の天地に和紙を足して、本紙寸法を大きくし保護紙とする。
- 2) 補修後、本紙を美濃氏と新糊にて肌裏打ちを行い乾燥させる。

- 3) 美濃紙と新糊にて俺の発生箇所及び将来発生すると思われる箇所に折り伏せ（美濃紙を細かく切ったもの）を入れ補強修理する。
- 4) 石州紙と混合糊（古糊と新糊を半々にしたもの）にて総裏打ちを行い仮張り乾燥させる。
- 5) 本紙を仮張りより外し、数珠にて裏摺りを行い、柔軟さと滑らかさを与え、再び空張り（湿さず）を行い十分に乾燥させる。
- 6) 本紙の仕上げに寸法の割り出しを行い、柔軟さと滑らかさを与え、再び空張り（湿さず）を行い十分に乾燥させる。
- 7) 石州紙と新糊にて合わせ調整を行い、八双竹と紐を付けて覆表紙を作る。
- 8) 本紙を仮張りより外し、周りに保護紙を残して断ち、一紙物として仕立て、紙管に巻き、さらに覆表紙に巻き込み簡易卷子装として仕上げる。

第12紙修復前



第12紙修復後



【令和元年度補修中】

1. 練革黒漆塗白糸威五枚胴具足の修復（久留米藩十一代藩主有馬頼成所用）

令和元年度の収蔵資料補修事業は、練革黒漆塗白糸威五枚胴具足については2か年の予定で実施中。合同会社大西漆芸修復スタジオと修復について協議している。令和3年に迎える有馬家の久留米入城400年に際して展示会を実施する際には展示する予定である。

ア) 現状

全体に汚れが目立つ。鎧櫃は過去の補修跡に、紫外線に反応をする漆以外の塗料が見られる。埃が溜まっている。鎧櫃は、汚れが付着し、打損箇所があり、補修に漆以外の塗料が塗られている。

兜については、塗膜剥離・剥落がみられ、素地である革の収縮に伴い、兜鉢の塗膜全面に亀裂が生じ、剥離・剥落が生じている。また、筋兜状に裝飾された筋部分は、こより・革・鯨の髭などの材料が使用されていることが考えられるが、素地の収縮に伴い歪んでしまっている。兜前方全面に亀裂がある。全面に塗膜亀裂、塗膜剥離・剥落、筋の歪みあり。

五枚胴については、素地である革の収縮に伴い、五枚胴に施されている竜の高蒔絵に亀裂が生じ、大きな剥離が生じている。剥落の危険性が非常に高い状態である。高蒔絵の全体が剥離し、亀裂が生じている。その他、高蒔絵の剥離・塗膜の剥落 高蒔絵の亀裂、剥離が認められる。

その他、忍緒は表面が劣化し、繊維が広範囲に落ちている。全体に打損などによる欠損が見られ、欠損部周辺の塗膜剥離・剥落が見られる。

イ) 修復方針

現在、我が国で行われている指定文化財漆工芸品の保存修復に則り、現状保存修復を原則として行う事とする。修復に際しては、十分に事前調査を行い傷みの現状を確認した上で修復工程を決定する。

X線CT調査を実施して兜や五枚胴の構造を確認する。使用材料を調査し損傷原因を考察した上で、適切な処置方法を改めて検討する。必要に応じ蛍光X線分析、マイクロスコープ観察等の調査を行う。また、写真撮影を伴った修復の記録を取り、修復後と比較できるようにし、修復終了後報告書を作成し提出する。修復中に方針を変更する際には、適宜所有者と協議を行い決定する。

ウ) 修復仕様

事前調査ではX線CT調査を実施し、作品の現状を確認した上で改めて修復処置内容の検討を行う。検討会では甲冑製作の豊田勝彦氏とともに処置方法を検討し、安全に修復作業を実施するために五枚胴の解体・組み立て作業も担当をしてもらう。

忍緒は表面の繊維が劣化をしているが、補強処置ができないため現状のままとする。落ちた繊維は集めて別途保管をする。

クリーニング作業では、漆塗膜に傷が入らないように柔らかい毛棒で塵や汚れを払い落とす。漆塗膜に付着しているカビ汚れは、柔らかい木綿布に極少量の水分を与えたもので少しずつ拭きとりながら除去作業を行う。必要に応じ弱いアルコールを使用した除去も行うが、高濃度での使用は行わない事とする。カビ汚れの下には、漆塗膜上に時代を感じさせる経年の汚れが残されていることから、必要以上にクリーニング作業は行わない事とする。鎧櫃の補修で塗られた黒色塗料は、溶剤を使用し可能な限り除去を行う。

兜の剥離塗膜の接着では、塗膜接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈をして塗膜下に含浸し、圧着固定を行い塗膜の安定処置を行う。作業上、麦漆での作業が困難な場合は、膠で接着を行う。筋の歪みは、真っ直ぐにする場合は余分な長さを切除する必要があるため、表面の傷を今以上に増やさないためにも現状のまま接着安定処置を行う。

五枚胴の高蒔絵剥離箇所の接着では、練革の収縮に伴い元の位置に密着した状態で収まることはできない状態である。そのため、五枚胴との隙間を可能な限り減少をさせた状態で高蒔絵を塗膜接着用の麦漆で接着安定を行い、隙間に刻苧を充填し高蒔絵の安定処置を行う。鎧櫃の剥離塗膜は、兜の剥離塗膜接着と同様の仕様で接着安定処置を行う。

亀裂部と欠損部に刻苧の充填を行い形態の復元を行う。小欠損部で損傷が拡大する心配が無い箇所については現状のままとする。刻苧箇所を錆漆下地を付けて表面肌を整え、欠損部と周辺漆塗膜との段差を緩和させる。また、触手による再剥落を防止するため、塗膜際に極少量の錆漆下地を付け仕上げる。

工) 工期

令和元年8月～令和3年3月までの2か年を予定している。九州国立博物館内の文化財保存修復施設6（漆工室）において行う。



(3) 令和2年度以降の資料補修について

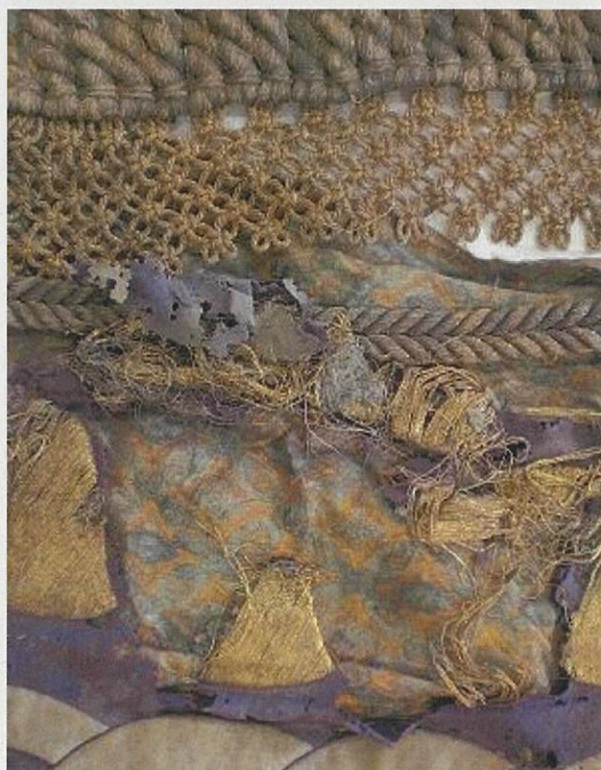
- ・練革黒漆白糸威五枚胴具足（久留米藩十一代藩主有馬頼成所用）

令和元年より2か年計画で修復を予定している。（9ページ参照）



・化粧まわし

昨年度の収蔵資料審議会にて、補修すべき資料として指摘された小野川才助の「化粧まわし」については、京都府の宇佐美松鶴堂と資料実見のため、協議を進めているところである。



6. その他

(1) 資料の活用状況について

・展示

【平成30年度六ツ門図書館展示コーナー】

No.	展示会名	会期	担当部局	来場者数
1	世界人権宣言展	4月6日～4月22日	協働推進部 人権啓発センター	196
2	防災展	4月25日～6月17日	都市建設部 防災対策課	1,163
3	筑後川水害史展	7月7日～9月24日	市民文化部 文化財保護課	4,403
4	水道や下水道の役割	10月10日～11月4日	上下水道部	523
5	むかしのくらし展	11月23日～3月24日	市民文化部 文化財保護課	6,741
6	常設展	4月1日～3月31日		368

13,394人

*常設展示「昭和30年代のくらし」（上記1～4の会期以外）

【平成30年度久留米シティプラザ】

展示会名 平成30年度久留米市収蔵資料展「行きかう、にぎわうー交流拠点都市の系譜ー」

会 期 平成30年8月25日（土）～平成30年9月3日（月） 10時～17時

会期10日間・無休

会 場 久留米シティプラザ2階 展示室2

入 場 料 無料

主 催 久留米市、久留米市教育委員会

主 旨 久留米地域は、古代以来、政治経済・文化交通の要衝として発展してきた。その長い歴史とともに生み出され、残されてきた多様な歴史資料の数々を、「陸の道、河川の道」「行きかうモノ・人・文化」「都市のあゆみ」をキーワードに公開し、交流拠点都市としての久留米の歴史を紹介。

関連イベント 田中久重作「文字書き人形」実演（8月25日及び9月2日）

来場者数 688名

【平成 31・令和元年度六ツ門図書館展示コーナー】

No.	展示会名	会期	担当部局	来場者数
1	世界人権宣言展	4月1日～4月23日	市民文化部 文化財保護課	545
2	防災展	4月27日～6月16日	都市建設部 防災対策課	1,206
3	久留米市誕生	7月6日～9月23日	市民文化部 文化財保護課	3,767
4	世界人権宣言	10月5日～11月4日	人権啓発センター	406
5	むかしのくらし展	11月30日～3月22日	市民文化部 文化財保護課	開催中
6	常設展	4月1日～3月31日		

5,924人

※常設展示「昭和30年代のくらし」（上記1～5の会期以外）

・資料貸出

【平成30年度】 (平成30年12月1日以降)

7件 (66点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
1月25日～ 4月12日	公益財団法人 有馬記念館保存会	平成30年度企画展「ミニチュアひ な人形」で展示	ひな道具 他	42
11月5日～ 11月30日	TNC テレビ西日本	報道番組で使用	写真データ	4
11月6日～ 11月30日	TNC テレビ西日本	報道番組で使用	写真データ	1
12月15日～ 12月22日	TNC テレビ西日本	報道番組で使用	写真データ	3
2月21日～ 3月29日	久留米市美術館	「没後50年坂本繁二郎展」	トランク 他	3
2月21日～ 10月30日	久留米市美術館	「没後50年坂本繁二郎展」	絵画モチーフ	4
12月15日～ 12月22日	TNC テレビ西日本	報道番組で使用	写真データ	9

【令和元年度】 (令和元年12月1日現在)

22件 (164点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
4月1日～ 3月31日	久留米市 人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
5月15日～ 6月3日	八女市教育委員会	没後50年坂本繁二郎資料展のため	トランク 杖	3
5月22日～ 3月31日	みずほ銀行 久留米支店	100周年記念事業パネル展示のた め	写真データ	4
6月3日～ 6月10日	FBS 福岡放送	番組制作のため	写真データ	1
6月7日～ 3月31日	みずほ銀行久留米支 店	100周年記念事業パネル展示のた め	写真データ	1
6月14日～ 6月15日	一般社団法人 久留 米青年会議所	久留米昭和フェス 展示のため	羽釜 他	60
6月16日～ 6月16日	(株)ディ・コンプレッ クス (TBS)	番組制作のため	写真データ	1
6月17日～ 7月1日	個人	福岡空襲体験発表のため	雑糞 他	2
7月10日～ 10月1日	福岡県立公文書館	企画展「学校給食ヒストリー」展 示のため	給食献立表 他	14
7月10日～ 3月31日	みずほ銀行 久留米支店	100周年記念事業パネル展示のた め	写真データ	3
7月11日～ 7月19日	個人	学習会のために使用	雑糞 他	4

7月19日～ 8月8日	小郡市教育委員会	大原合戦660周年記念事業『大原合戦展』展示のため	短刀	1
7月26日～ 11月19日	太宰府市 文化ふれあい館	「まるごと大宰府歴史展2019」における展示のため	ル・フォショウ式ピ ストル	1
7月24日～ 7月24日	久留米 ブランド研究会		写真データ	1
8月1日～ 8月7日	個人	福岡空襲体験発表のため	雑囊 他	2
8月2日～ 8月5日	個人	学習会のために使用	雑囊 他	4
8月15日～ 12月15日	鳥取市歴史博物館	特別展「豊臣政権と因幡の大名」 展示のため	田中吉政興廃記 全・写 他	4
8月16日～ 11月14日	公益財団法人 有馬記念館保存会	令和元年度企画展 「大名の風流～有馬家ゆかりの茶 道具」展示のため	有馬豊氏書状 他	20
9月3日～ 12月24日	九州歴史資料館	特別展 久留米-その歴史と文化- 展示のため	柳原焼 他	21
10月21日～ 11月1日	久留米市立 屏水中学校	人権学習のため	ちきり 他	7
10月23日～ 10月25日	犬塚校区 社会福祉協議会	小学校社会科授業のため	民具	7
11月1日～ 11月7日	個人	若宮八幡宮行事イベントのため	藁打ち	2

・印刷物掲載等

【平成30年度】 (平成30年12月1日以降)

14件 (19点)

許可日	申請機関等	目的	資料名	点数
12月6日	毎日新聞社	新聞記事作成のため	写真 筑後川鉄橋 と帆船(大正2年)	1
1月4日	読売新聞西部本社文 化部	新聞連載「維新150年」の紙面を書籍に 転載	田中久重の肖像写 真	1
1月15日	東芝未来科学館	5周年企画展示イベント告知チラシへ の掲載のため	文字書き人形写真	1
1月17日	個人	新聞報道で使用のため	昭和28年水害写真 他	2
1月24日	個人	講座「御井町・道の記憶」に使用	府中町旅籠蛭子屋 看板	1

2月4日	個人	Wikipediaの田中久重の項目に写真を追加するため	弓曳き童子写真・文字書き人形写真各1点、弓曳き童子DVD1点	3
2月15日	株式会社 農業技術通信社	雑誌「農業経営者」への掲載	牛島謹爾肖像写真他	2
2月25日	大分朝日放送	大分県朝日放送「九州をゆく」で放送(平成31年3月9日午後6時30分～)	写真「特許緋国武合名会社工場内部」	1
2月25日	久留米古文書を読む会	『久留米大学文学部紀要』国際文化学科第三十四号に掲載	「御郡方、川方、吟味御目付勤方、年番方、小物成、山方、締方御別用銀取計、受持御郡奉行勤方、町奉行中勤方、御銀方勤方、御普請方 午七月 西原」	1
2月26日	個人	八間屋村沿革史作成	久留米近傍図之二	1
3月6日	個人	八間屋村沿革史作成	国分村地図	1
3月8日	個人	日本ばね技術遺産選考委員会への申請のため	弓曳き童子写真・文字書き人形写真各1点	2
3月20日	個人	八間屋村沿革史作成	字図上津荒木村・大字荒木の内	1
3月26日	クルメスタイル	くるめすたいる4月号掲載のため	日本商工業別明細図久留米市	1

上記のほか撮影のみ 22件 (102点)

【令和元年度 (令和元12月1日現在)

22件 (126点)

許可日	申請機関等	目的	資料名	点数
4月11日	日本航空宇宙学会	日本航空宇宙学会誌2019年5月号に掲載のため	弓曳き童子の写真	1
4月19日	八幡生涯学習のむら	古文書講座のための参考資料	紀行(伊勢広島紀行)ほか	2
4月26日	個人	「戦争を歩く、戦争を記憶する」に掲載のため	娼妓所得金日記帳	1

5月20日	株式会社アッシュ	『必殺仕事人 DVD コレクション』11号 画像掲載のため	弓曳き童子/文字書 き人形	2
5月21日	田川市立 伊田中学校	放送部によるテレビ番組制作	久留米高女による 演奏会写真	1
5月26日	鳥取市 歴史博物館	特別展「豊臣政権と因幡」	田中吉政興廃記 全・写ほか	4
6月10日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名の風流 ～有馬家ゆかり の茶道具」展示にかかる広報印刷物	有馬豊氏書状、柳原 焼、他	20
6月25日	個人	西南学院大学国際文学部の授業にて使用	徴兵検査の栞 他	6
7月2日	小郡市教育委員会	『大原合戦展』展示用パネル	将軍梅（写真）	1
7月7日	個人	筑後地域文化誌「Agena Dogena」、福 退協「すこやか」の原稿に使用	『ドイツ人俘虜収 容所Ⅱ』3P「大谷 派教務所」写真 他	5
7月8日	西日本新聞社 久留米総局	取材及び記事掲載	施行当時の久留米 市役所（明治後期） 他	6
7月10日	個人	筑後地域文化誌「Agena Dogena」16号 「ドイツ俘虜による第九演奏会から 100年」に添えるため	久留米高女での演 奏会写真 他	3
7月25日	個人	郷土の歴史調査、先祖の暮らしぶりの 調査	弥永家文書	28
7月29日	個人	『乃美大方の遺産～毛利元就庶子の系 譜～』に掲載するため	久留米城全景写真 他	5
8月16日	個人	小学館刊行の『キッズペア 歴史館』 に掲載するため	田中久重肖像写真 1点、弓曳童子写真 1点	2
8月19日	個人	同窓会報記事作成のため	ドイツ俘虜音楽会 写真1点	1
8月27日	株式会社ユニフォ トインターナショ ナル	中学校社会科（歴史）副教材への掲載	無尽灯 他	2
8月30日	個人	明善同窓会パンフレットに写真を掲載 する	久留米高女での演 奏会写真2点	2
9月9日	有限会社アイディ ーコーポレーショ ン	イベント告知用チラシへの掲載	弓曳き童子	1
9月26日	株式会社ツクリテ	情報誌記事作成のため	カメとら写真9枚、 昭和32年久留米市 ゼンリン地図	10

10月8日	(株)エヌエイチケイ プラネット中部支 社	図録「玉屋庄兵衛の世界展」掲載のため	弓曳き童子1点、文 字書き人形1点	2
10月9日	公益財団法人有馬 記念館保存会 会 長 竹村政高	企画展「春を彩る～雛と花の宴～」展 示にかかる広報印刷物	おきあげ 他	21

上記のほか撮影のみ 7件 (102点)

収蔵資料点数一覧 (令和元年12月1日現在)

	歴史資料	美術工芸	民俗	考古	自然	その他	計
文化財収蔵館	55,541	10,148	1,890	23	2	5	67,609
高良内収蔵庫	335	6	519	0	0	0	860
南町収蔵庫	6,254	1,201	2,570	77	0	30	10,132
田主丸収蔵庫	6,953	34	1	0	0	0	6,988
三潞収蔵庫	28	0	622	0	0	0	651
日吉町収蔵庫	2,500	0	0	0	0	0	2,500
その他※	9	2	129	0	0	0	140
計	71,621	11,391	5,731	100	2	35	88,880

※六ツ門図書館展示コーナー常設展示等へ長期出庫

久留米市文化財収蔵資料審議会委員名簿

区 分	氏 名	所 属
歴 史	江藤 彰彦 えとう てるひこ	久留米大学経済学部 文化経済学科
歴 史	吉田 洋一 よしだ よういち	久留米大学文学部 国際文化学科教授
美術工芸	植野 かおり うえの かおり	立花家史料館館長
美術工芸	國生 知子 こくしょう ともこ	甘木歴史資料館副館長
美術工芸	吉永 陽三 よしなが ようぞう	学識経験者 (前佐賀県立博物館・美術館副館長)
考 古	大津 憲彦 おおつ けんひこ	筑紫女学園大学文学部アジア文化学科
民 俗	吉留 優子 よしどめ ゆうこ	学識経験者 (前九州産業大学美術館主任学芸員)
教育普及	後藤 純子 ごとう じゅんこ	久留米市美術館総務課長

令和元年度の文化財保護課の組織

久留米市 〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp				
	課長	チームリーダー	事務職	専門職
<p>市長 大久保 勉 副市長 中島 年隆 森 望</p> <p>教育長 大津 秀明 0942-30-9000</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 宮原 義治 文化芸術担当部長 竹村 政高 市民文化部次長 西村 信二</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保存活用) 0942-30-9323 (管理) FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p> <p>有馬記念館 TEL/FAX 0942-39-8485</p>	<p>文化財保護課</p> <p>課長兼埋蔵文化財センター所長 水島 秀雄</p>	<p>埋蔵文化財 課長補佐 久保田 由美</p> <p>文化財保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦</p> <p>文化財管理 課長補佐(兼)主査 白木 守</p> <p>(公財)久留米絣技術保存会 事務局次長 丸林 禎彦</p> <p>(公財)有馬記念館保存会 事務局次長 白木 守</p>	<p>事務主査 岡崎 明美 市村 久美子 倉吉 孝道 石松 眞知 内堀 一弘(再短) 箔谷 綾(任短) 野間 華(任)</p> <p>大藪 住江</p> <p>岡崎 明美 内堀 一弘(再短)</p>	<p>主査 水原 道範</p> <p>事前確認 事務主査 塚本 映子 小澤 太郎 熊代 昌之</p> <p>西町発掘調査事務所 江頭 俊介 西 拓巳 小川原 励 大隈 彩未 長谷川 桃子 米澤 美詠子(専) 宮崎 彩香(専) 今村 理恵(専)</p> <p>埋蔵文化財センター 水原 道範</p> <p>本田 岳秋 江島 伸彦 神保 公久 穴井 綾香 廣木 誠 原口 花恵</p> <p>文化財収蔵館 寺崎 勝美(嘱) 石橋 久美子(専) 川崎 裕佳(専)</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 中村 吉文(再短) 二村 智治(嘱)</p> <p>神保 公久 穴井 綾香 原口 花恵</p>

(再短)は再任用短時間勤務職員、(嘱)は嘱託職員、(専)は専任非常勤職員、
(任短)は任期付短時間非常勤職員、(任)は任期付非常勤職員の略。